

英国の CPTPP 加盟の署名に応じて（仮和訳）

JEITA と techUK は英国の CPTPP 加盟の署名を歓迎します。私たちは、この成功を収めるために日本、英国、その他の CPTPP 加盟国の政府が行った多大な努力に心から感謝します。

最近の不確実な世界情勢と世界的な分断と保護主義の増大は、世界中で経済の停滞と国際貿易の停滞を引き起こしています。このようなときこそ、私たちは自由、公正、開かれた貿易に対する基本的な信念を改めて表明する必要があります。英国は、CPTPP が 2018 年に発効して以来、当初の参加 11 カ国以外で新たに加盟した最初の国です。私たちは、世界第 5 位の経済大国である英国の加盟が、投資、サービス、貿易に関する高水準のルールを特徴とする自由貿易圏の拡大に弾みを与えると強く信じています。

英国が CPTPP に参加するメリットは物質的なものだけでなく、戦略的なものでもあります。英国の加盟により、インド太平洋における同盟国に対する英国のコミットメントが強化されます。

さらに、英国のこのブロックへの加盟により、加盟国はデジタル貿易における実現可能領域を共同で押し広げることができます。特に、CPTPP の電子商取引に関する章には、自由なデータの流れのための先進的な規律、いわゆる「TPP3 原則」や、IT、半導体、ソフトウェア企業のビジネス環境の改善に貢献する「デジタル製品の無差別待遇」や「電子送信に対する関税のモラトリアム」が含まれています。これらは、データが国境を越えて自由に流通し、より高度なサービスを生み出す世界を実現するために不可欠です。英国がこれらの原則を支持することは、すべての CPTPP 加盟国にとって大きな利益となると同時に、他の国や地域のモデルとしても役立ちます。

G7 メンバーである英国の参加は、今後の CPTPP 推進にとって大きなプラスとなります。CPTPP は自由貿易体制の維持・強化を実質的に支える強力な前線であり、CPTPP の拡大に取り組むことが引き続き重要です。

日本と英国には IT 分野における長い協力の歴史があります。私たちは英国の CPTPP への加盟により、研究開発における協力の促進、国際規制、イノベーションの促進、企業間の協力のさらなる拡大など、両国間の相互関係がさらに強化されると確信しています。

私たちは、引き続き日本、英国、その他の CPTPP 加盟国の政府に対し、すべての加盟国での早期批准に向けた努力が継続されるよう要請いたします。

電子情報技術産業協会  
会長  
小島 啓二

Tech UK  
プレジデント  
シーラ・フレーベル CBE